

社会学と写真 記録の先に 続・混合の地域



大久保の老舗「興福楼」の陳さんと「伊予路」の伊藤さん。お互いが被写体となった写真展の会場で初めて出会い、言葉を交わす(撮影：史涵)

本展について

日本有数の多文化共生地区である新宿区大久保。韓国系ビジネスの台頭やエスニック・コミュニティの出現により観光地化した大久保には、地域に根差した「老舗」が存在します。4人の店主の日常/非常(非日常)を捉えた史涵さんの写真展『混合の地域：大久保老舗物語』（2024年5月-6月）は、地域の多くの方の協力を得て、これまで個人の活動発表の場としては開放されることのなかった大久保地域センターで開催されました。その様子や活動の背景はHUFFPOSTやNHKなどの各種メディアで報じられ、来場者は400名を超えました。このたび社会学研究室では『続・混合の地域』と題し、同展のパネルや「その後」の写真を中心に、史涵さんの過去の写真展からも数枚を選んだ企画展を開催します。写真のほか、1990年代から社会学専攻のなかで受け継がれてきた大久保調査の歴史についても、関係書籍やゼミ論集の展示を通してご紹介します。本展を通し、写真によってこそ見えてくる社会的なもの、記録を重ねた先に浮かびあがるもの、文化が混ざり合う地域社会に現れては消えていく「何か」について、思いを馳せていただければ幸いです。

来場のご案内

中央大学の学生・教職員の方
開室時間内に自由にご鑑賞いただけます。
※臨時閉室となる場合があります。

一般の方
来場希望日の2営業日前までに以下の内容を社会学研究室 (shakai-grp@g.chuo-u.ac.jp)へお送りください。追ってご連絡致します。

- ①来場者全員のご氏名
- ②希望日時候補（複数可）
- ③代表者の方のご連絡先

トーク会 ※一般の方のみ要事前申込

日時 2024年7月11日（木）13:20-14:20
場所 3号館 2階 3201教室
参加者 史涵、首藤明和（社会学専攻専任教員）
司会 玉木亜弥（社会学研究室室員）

社会学の研究過程で写真を撮ることの意義や活かし方を、史涵さんの撮影事例をもとに解説します。また、中国を中心に東アジアでのフィールドワークを数多く行ってきた首藤明和先生に、社会学者としての写真の見方、調査地での写真撮影にまつわる体験についてお話をいただきます。後半は質疑応答を行います。入退室自由です。どなたでもお気軽にご来場ください。

2024
7/5
▼
7/24
9:00 - 17:00
(土日祝除く)

イベント詳細掲載中▼

中央大学文学部・
大学院文学研究科
社会学専攻
Webサイト



企画・主催・お問い合わせ先
社会学研究室
☎ 042-674-3841
✉ shakai-grp@g.chuo-u.ac.jp

会場



「中央大学・明星大学」駅 徒歩2分
3号館 9階 社会学研究室(受付：3902)

史涵(しかん)

中央大学文学研究科社会学専攻博士
後期課程在籍。専門分野は都市社会学、
地域社会学。2008年の来日以降、
新宿区大久保・大阪市西成区での
参与観察や写真撮影を重ねる。
都市部に生きる人々の写真を掲載する
Instagramのフォロワーは1.9万人超。



@PUNCTUM_XK